

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1490400049	事業の開始年月日	H20年8月1日
		指定年月日	H20年8月1日
法人名	株式会社 保健科学研究所		
事業所名	グループホーム 本牧つばき園		
所在地	(〒231-0823) 神奈川県横浜市中区本牧大里町24-10		
サービス種別 定員等	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名 ユニット数 2 ユニット
自己評価作成日	令和 8年 1月 2日	評価結果 市町村受理日	令和8年2月18日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください

基本情報リンク先	https://www.reiwakaigo.co.jp/facility/tsubaki/
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

アットホームな雰囲気の中で介護をする事に力を入れています。顔見知りのスタッフと共に、季節のイベントや普段のお手伝いなどを通じて、生活リハビリに取り組んでいます。感染対策に取り組みながら、近隣へのお散歩や町内会が開催するイベントに積極的に参加し、社会との繋がりを大切に楽しんでいただけるようにしております。又、園内ではご利用様に楽しんでもらえるイベントを月に一度、企画・実施しております。又ご家族様に事前にアンケートで御協力いただき、今年度よりセラピー犬と触れ合う場を提供し癒やしの時間を設けてご利用様、それぞれと関わっていただいております。職員研修では個々の知識や技術に満足することのないよう、法定研修はもちろんその他に個々の研修内容を変え実践で活かせるよう毎月の研修を実施しています。この事業所を知っていただくため、ご家族様並びに町内との連携を密にすること

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	令和8年1月20日	評価機関 評価決定日	令和8年2月2日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【事業所の優れている点】
◇利用者笑顔の出る環境作り
 ・毎日の朝会で利用者の状況を話し合い、職員間で共有し、利用者それぞれのその日の状況に応じたトイレ誘導、入浴や食事の介助等に活かしています。運営推進会議で紹介のあった町会の縁日に出かけたり、町会の祭りで神輿が事業所に立ち寄るのを見学したりしています。近隣の小学校から小学生が事業所を訪問し、七夕の笹飾りを利用者と一緒にの行なったり、卒業間際の子たちが演芸を披露してくれるの喜んで見えています。最近、大きなセラピー犬2匹が月一度事業所に訪問してきて利用者の楽しみとなっています。

【事業所が工夫している点】
◇地域密着の行動
 ・運営推進会議では、町会長、民生委員がメンバーとなっており地域のイベント等の紹介があり、利用者と共に参加しています。又、町会の班長を事業所が勤め、グループホームの事業内容等の周知度が上がり、事業所の見学者が増えました。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	本牧つばき園
ユニット名	はまなすユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	✓	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	✓	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	✓	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	✓	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	✓	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	✓	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	✓	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	✓	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		✓	3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	✓	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	✓	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	✓	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	✓	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念に基づいた運営を行っています。その中に会社が掲げている2030を職員で読み上げ職員の実践につながるよう意識し共有しています。	・理念は、利用者の人格尊重、その人らしく過ごせるサービスの提供を掲げている。毎月のユニット会議で理念の読み合わせをして、確認を行なっている。職員が日常利用者に寄り添ったケアを行なっている姿から理念の浸透がうかがえる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域密着を意識して、特に町内会の活動に力を入れています。お祭りでは「御神輿の待機所」として園庭を提供、間門小学校の「こども110番の家」にも参加している。	・八聖殿の縁日に参加したり、町会の祭りの神輿の中継所を提供したりして、地域の行事に参加している。 ・紙芝居のボランティアや本牧小学校の児童による七夕飾りの提供や演芸の披露がある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通じて、情報発信をしています。 又、少しでも地域の方々に貢献できるよう町内会の班長を努めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこで意見サービス向上に活かしている	施設内にて、撮影した写真をご覧いただき運営している雰囲気が伝わるようにしています。	・事業者から研修内容やヒヤリハットの事例等の報告を行なっている。 ・民正委員やケアプラザ職員から餅つきや祭り等の情報を貰い利用者が参加している。 ・事業者からの情報発信で知名度が上がり見学者が増えた。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	定期的に連絡を行い、協力関係の構築に努めています。	・区高齢課とは、介護保険申請や区分変更の電話連絡を行なっている。運営推進会議議事録を送っている。 ・区生活支援課から、生保受給者の生存確認のための面談や金銭面の確認のための来訪がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束適正の研修を定期的に行い予防に努めています。	・身体拘束適正化委員会は、法人全施設の管理者が参加し、年4回開催している。職員にはユニット会議で、議事録から物忘れの利用者への声掛けなど話題となった事項の説明をしている。 ・身体拘束防止のために横浜市作成のチェックシートを使って学習した。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修を行い、活用できるように努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修を行い、活用できるように努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約又は解約時は事前に説明を行い、特に勘違いしやすい項目に関してはわかりやすく説明できるように工夫しています。入居後のご質問等にもご理解いただけるよう直接お話をさせていただいております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議でいただいたご意見・感想はできるだけ職員へ共有するように心掛けています。	・家族からの意見は、利用者の体調の様子や金銭的な問題が多く、面談や電話で詳細に報告している。 ・ケアプラン作成時に、家族の要望を聞いている。電話連絡が多いが、毎月のお便りにコメントを書くと返事をもらえる。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度のユニット会議を開催し、その他に意見や提案がある場合には「申し送りノート」「夜勤送り用メモ」などを活用し日々の業務の中で情報収集を行っています。	・職員意見で、夏場の散歩の時間を暑さ対策から夕方に変えた。 ・利用者の健康管理としてスチーマを購入し、ホットタオルを作り、利用者の朝の洗面や毎食後の手拭きに使っている。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	出勤時はもちろん、常にコミュニケーションをとり、得意な分野への役割をあてがい苦手な分野は話し合いを設けて一緒に取り組むことに努めています。	・職員と評価シート面談を年2回行なって、賞与に反映している。 ・職員の資格取得には本給と資格手当で報いている。 ・働きやすい職場として、明るく、職員同士の会話が弾む雰囲気づくりを目指している。	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間研修を設定し、個々の能力、技術に合わせた研修内容にも取り組んでいます。また、経験の少ないケアについては実践を通し、ベテラン職員と共に指導をしています。	・研修はWebで受講でき、職員は自分の都合の良い時を選んで受講している。 ・職員の募集は、本社人事で行っているが、事業所としても、民生委員、ケアプラザ職員、知り合い等にも声掛けをしている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	法人内の系列施設に訪問する機会を設けています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご契約前には御本人と面談をさせていただきご入居に向けての不安や心配事を聴き取り、ご配慮出来るように心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご入居される前に出来るだけご要望を聴き取り、不安を解消出来るように努めます。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前面談の情報を介護現場と共有し、ご入居初日から適切なサービスを受けらると共に入居から一週間ほどの情報を分析し見極め、支援しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	言葉遣いに配慮しつつ、ご自身で出来ることは声掛けをし、出来ないことは職員と一緒に行うなどで共に暮らす者同士の関係をきずいています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月に一度のご家族様への手紙で御本人の日常生活を伝え、電話や面会をする機会などを設けています。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	時間と人数への制限はありますが、事前予約制面会を行い、ご入居者様と馴染みのある方と一緒に過ごしていただけるように支援しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の生活歴、職歴等は入居時のアセスメントで把握している。 ・利用者の外部との関わりは、町内のイベントに出かけたり、散歩時に近隣住民と声を掛け話し合いをしている。電話や年賀状の交換もある。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が間に入り、一緒に話をしながら交流が持てるように支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご連絡をいただいた時は、可能な範囲で相談や支援などを行っています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居前に事前情報をもとに出来る範囲のお手伝いをさせていただき、困難な場合は本人様に寄り添いながら検討することに努めています。	・話し合いのできる利用者から、興味のあるものを聞き出し、レクに反映している。表現困難者に声掛けをし、表情を読み取ったり仕草から思いを推測している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様からいただいた情報や御本人との会話の中から少しのことでも情報収集をし、「その人を知る事」からのケアに努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の介護記録や連絡ノート、危険因子等を含め職員一同が情報共有に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護記録やユニット会議での日常の情報を共有すると共に、職員からの意見やアイデア、ご家族様からのご意見を反映し介護計画を作成しています。	・介護計画は長期1年、短期6カ月に設定し、利用者に変化があればその時に計画を変更している。 ・毎月のユニット会議でカンファレンスを行ない、業務日誌に介護記録を毎日記載し、モニタリングとしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	連絡ノート・危険因子などで情報共有を行い、日々のケアに反映させると共に見直す点はユニット会議で意見を出し合い、実践をして共有をし職員が同じ方向を向くよう努め日々のケアに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	居室担当を任命し、月に一度のご家族様へのお手紙やご面会など御本人様からのご意見を傾聴し柔軟に応えられるように取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の祭礼や縁日などに参加を行い、入居者様が参加出来るように支援しています。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご入居前にかかりつけ医からの情報提供を得て、ご希望があれば繋がりのあるかかりつけ医の往診も可能となっております。	・内科は全員が協力医をかかりつけ医とし、月2回の訪問診療がある。週1回、事業所の看護師による健康チェックを受けている。 ・歯科医も口腔ケアを含め、月1回の訪問診療がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	正看護師による健康チェックを月に4回程度行っています。得られた情報は「訪問診療看護記録」に記入し介護職員や往診医にも共有できるようにしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ADL表の提供や日々の様子を含めて、情報提供を行っています。 又、医療関係者と連絡を取り合い退院に向けての相談やその後の経過においても密に連絡をしています。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族と医師の面談や連絡をする場を設け、家族・御本人の意向に沿いながら職員に情報共有し、不安無く関わられるように取り組んでいます。	・「重度化対応・看取りに関する方針」があり、1昨年末に、2人の看取りを行なった。今年度、看取りはなかったが、重度化した場合は家族、医師、看護師、職員が連携し、方針を共有して支援する体制ができている。	・長年、生活を共にした利用者の「看取り」は、職員に強い精神的負荷（ストレス）をもたらします。事業所の看護師による「メンタルケア」の研修、話し合いが期待されます。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生に備え対応手順・連絡先を提示し、急な事態になっても手順通りに対応できるように指導しています。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災計画を作成し、定期的な訓練を行っています。	・年2回、夜間想定を含む避難訓練を行ない、5月には運営推進会議メンバーも参加して、中消防署の指導のもと、避難訓練を行なった。 ・防災、備蓄品をリスト化し、3か月に1度、在庫と期限のチェックをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	事業所内にて個人情報・接遇マナー研修を行い、日々の業務の中で注意しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は入職時に人格の尊重やプライバシー保護について学ぶほか、毎年接遇・マナー、倫理・法令遵守の内部研修を受けている。 ・管理者は、不適切な対応には、その場で一端手を止めて、注意指導するようにしている。 	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	残存機能を失わないように御本人が着替えの洋服を選んだり、パンの訪問販売ではご自身で好きなパンを選んでいただくなど選択肢を提供するようなコミュニケーションを心掛けて支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご気分が優れず入浴したくないとおっしゃたときには、時間をずらす、日を改めるなどの柔軟な対応を行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節感を忘れないように洋服選びのお手伝いをしています。また、定期的な訪問理美容での支援をしています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事前のテーブル拭きなど、出来る範囲のお手伝いをさせていただいています。行事での食事では目でも楽しんでいただけるように盛り付けなどを工夫し、調理レクでは職員と一緒にエプロンを付けてお手伝いをさせていただいています。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者はできる範囲で下膳や食器拭きを手伝っている。 ・利用者はエプロンと三角巾を付けて、たこ焼きやホットケーキ、バーベキュー等の調理レクを楽しんでいる。毎年夏の出前のウナギも楽しみのひとつとなっている。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	「排泄チェック表」にて水分や食事を把握し、水分が苦手な入居者様には好みの温度に調節したり、居室で好きな時に飲めるように工夫し、提供するなどお一人お一人の状態に合わせた支援を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	訪問歯科医を受診することで異常がないかのチェックと入居者様の状態に合わせた無理のない口腔ケアを行っています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレ誘導のタイミングや下剤の調整を行い、出来るだけご自身の力でできるように支援しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄チェック表を活用し、利用者のできることを尊重しながら、声掛け・誘導をして、排泄の自立に向けた支援を行なっている。 ・トイレ誘導はさりげなく声かけし、失敗した場合も他の利用者が気づく前に手早く対応している。 	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	出来るだけ水分を取っていただいたり、おやつに寒天ゼリーを召し上がっていただき対応しています。無理のない範囲でお散歩や体操に参加いただいております。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	季節に応じ、菖蒲湯やゆず湯などで入浴を楽しみ懐かしんでいただけるような支援を行っています。また、お湯の温度も出来る範囲で御入居者様の好みに近づけるようにしています。	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴は週2回を基本に午後に行なっている。入浴を職員と1対1でゆっくり話せる機会と捉え、思い出話を聞いてあげるなど、大切な時間に行っている。 ・季節の菖蒲湯、柚子湯などで季節を感じる工夫をしている。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お部屋にて休んでいただく時間を設け、室内の温度に配慮しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	いつでも内服情報を参照出来るようにしています。また症状に変化が合った場合は往診医に相談できるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	園庭での花を職員と一緒に植え成長を楽しんでいただいたり、出来る範囲でのお手伝いを依頼し気分転換できるように配慮しています。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	園庭での外気浴や近所への散歩、ドライブなどの外出支援を行っています。	<ul style="list-style-type: none"> ・天気の良い日にはできるだけ、散歩に出かけたり、玄関前駐車場のベンチで外気浴をしている。 ・八聖殿の縁日や餅つき大会に出かけて、買い物や見学を楽しんでいる。職員と一緒に坂を登って行く利用者もいる。 	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	可能な範囲でのお買い物などの支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望のご家族には電話で話す機会を提供しています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせてユニット内、玄関の飾りを変え季節感を失わないように配慮しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・温湿度、照明や換気に配慮した居間と食事室は、ゆっくり寛げる場所になっている。 ・廊下には、職員と一緒に作った塗り絵や貼り絵のカレンダーを飾り、また、行事の写真等も掲示して、楽しい雰囲気になっている。 	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	相性や性格を見て、気の合う方は出来るだけ近くの席になるよう配慮しています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	思い出のある家具や写真などを持ってきていただいています。また、園内でとったお写真や自作の塗り絵などを飾ったりとしています。	<ul style="list-style-type: none"> ・居室には使い慣れた家具やラジカセなどを置き、家族の写真や趣味の物を飾り、心地よく過ごせるようにしている。 ・時々、家具の向きや配置換えなど自分で工夫して、自分らしい部屋としている利用者もいる。 	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	表札や案内板などを設置し少しでもお一人で行動出来るように配慮しています。		

事業所名	本牧つばき園
ユニット名	りんどうユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	✓	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	✓	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	✓	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)		1, ほぼ全ての利用者が
		✓	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
		✓	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	✓	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
		✓	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	✓	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
		✓	2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		✓	2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1, ほぼ全ての職員が
		✓	2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
		✓	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		✓	2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念に基づいた運営を行っています。又地域への社会参加に努めております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域密着を意識して町内会の活動に参加しております。お祭りでは御神輿の待機所として園庭を提供して地域の方と交流もしています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通じて情報発信をしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	施設内で撮影した写真をご覧いただき、生活の雰囲気が伝わるようにしています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	定期的な連絡を行い、協力関係の構築に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束の適正化の研修を定期的に行い予防に努めています。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修等を定期的に行い虐待防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修を行い活用できるように努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約又は解約時には事前説明を行い、特に勘違いしやすい項目に関しては分かりやすく説明出来るように工夫しています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議でいただいたご意見、ご感想はできるだけ職員に情報共有しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回のユニット会議を開催、そこで意見を出し合い申し送りノート等を活用し日々の業務の中で情報収集を行っています。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	日々の業務の中でコミュニケーションを取りながら実施、又面談等で意見を収集し環境整備に努めています。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修を行い社内にてケアの実践を通し力量を把握し話し合っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	法人内の系列施設に訪問する機会を設けています。又会議等にも参加して交流をしています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	傾聴しながら本人様が安心して過ごせるように関係づくりをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご要望等に耳を傾け不安なく過ごせるよう関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前面談等でご要望を伺い、情報共有をし適切なサービスが行える対応に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	言葉遣いに配慮しつつご家庭にいるような親しみを持ったケアを実践しています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月に1度ご家族様へのお手紙でご本人様の日常の生活を伝え、面会やお電話で話す機会を設けています。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者様本人より写真を見せていただいたり場所を調べたりしながらお話をしています。又面会やお電話等で幼馴染の人との交流支援にも努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が間に入り利用者様同士で交流が持てるように支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	可能な範囲での支援に努めています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	面談等での事前情報を下にできる限りお手伝いをさせていただいています。困難な場合は本人様に寄り添いながら検討しております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様からの情報やご本人様との会話の中から情報収集をし経過の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りノートや毎日の介護記録を職員一同で共有し会議で話し合い現状の把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ユニット会議や介護記録で日常の情報を共有すると共に職員からの意見やご家族様からの意見を反映し介護記録を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	連絡ノートでの情報共有を行い日々のケアに反映させると共に見直し点等の意見を出し合い介護計画の見直しに活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	居室担当を決め担当者が月1回ご家族様へお手紙をお出ししご本人様の意見を柔軟に応えられるよう取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の祭礼や縁日等に参加し入居者様も楽しむ事ができるよう支援しています。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問診療を利用しご家族への情報提供を行い支援しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	正看護師の職員による健康チェックを月に4回程度行っています。得られた情報は「訪問診療看護記録」に記入し介護職員や往診医にも共有しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ADL表の提供や日々の様子を含めて情報提供を行っています。又医療関係者と連絡を取り合い退院に向けての相談やその後の経過においても連絡しています。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りについての取り組みを行い、ご家族とご本人様の意向に沿いながら職員に情報共有し不安なく関われるように取り組む支援をしています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時の対応手順は連絡先を提示し、急な事態にも手順通りに対応できるようにしています。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災計画を作成し定期的な訓練を行っております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	社内にて個人情報接遇マニュアルマナ-研修を行い日々の業務の中で声掛けをし注意しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	残存機能を失わないようにご本人様が洋服を選び着ていただいたり、訪問パン屋さんにてご自身で好きなパンを選んだりいただく等選択肢を提供するよう働きかけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人様の希望を伺い入浴をしたくないとおしゃった時には時間をずらしたり居室にて休んでいただき改めて声掛けする等の対応をしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節感を忘れないように洋服選びのお手伝いをしています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	行事食や訪問パン屋さんにていつもと違う食事も味わっていただいたりし又好きなお菓子等を召し上がって楽しんで食事に興味を持っていただく支援をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分が足りないご利用者様には声掛けを行ったりチェック表にて水分量や食事量を把握し水分が苦手なご利用者様には好みの飲み物を提供して支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	訪問歯科医を受診したりすることで口腔内のチェックをしたり一人一人に合った口腔ケアを行っています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	下剤内服一覧表を提示し水分表にて水分が足りない利用者様には声掛けをしトイレ誘導のタイミングを把握し自立支援を行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	できるだけ水分補給をしていただき、おやつにて寒天ゼリーや乳製品を召し上がっていただく対応をしたり無理のない範囲で体操への参加をしていただいております。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	季節に応じ、ゆず湯や菖蒲湯などの入浴を楽しんでいただけるような取り組みをし又温度は出来る範囲ご利用者様の好みに近づけるようにしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お部屋にて休んでいただく時間を設け室内の温度設定に配慮しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情報を参照にできるようファイルにて管理しています。又急変時等には往診医に相談できるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来る範囲でのお手伝いを依頼して気分転換出来るように配慮しています。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	園庭での外気浴や近所への散歩等を行い支援しています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	可能な範囲で買い物に行く事も検討しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご入居者様ご家族のご要望に合わせて電話を取り次ぐ支援をさせていただいております。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせた飾り付けを行い季節感をを忘れないように工夫しています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	相性や性格を見て気の合う方だけでお席が近くになるように配慮しています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	思い出のある写真や家具を持参していただいております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	表札や案内板に配慮し一人でも行動ができるように工夫しています。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム
本牧つばき園

作成日 令和8年2月2日

【目標達成計画】

優先 順位	項 目 番 号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取組み内容	目標達成に 要する期間
1		長年、生活を共にした利用者の「看取り」は、職員に強い精神的負荷（ストレス）をもたらします。重度化や終末期にむけた支援を引き続き行えるようにする。	入居者様が住み慣れた環境で最期まで過ごす事が出来るようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な研修の実施 ・ユニット会議で終末期ケアに関する話し合いの時間を設ける。 ・事業所看護師による職員へのメンタルケアの研修や話し合いを設ける。 	2年
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。